# 避難タイムラインの作成及び風水害避難訓練の実施について

社会福祉法人
済昭園
SAISHOEN

特別養護老人ホーム済昭園　施設長　馬場昇

# 【これまでの取り組み】

◆防災計画の整備

→防災マニュアルの作成

→職員への防災研修の実施

→避難訓練の実施　消防訓練　　年2回

風水害訓練　年1回

◆要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び報告

（土砂災害警戒区域及び洪水浸水想定区域へ該当）

→嬉野市へ提出

# 【検討課題】

◆防災計画
→主に火災のため災害ごとのマニュアルの見直し
→避難訓練も火災時の通報・消火・避難訓練
→“風水害”への対応について見直し

◆要配慮者利用施設避難確保計画
（以下、避難確保計画）
→避難先（近隣の小学校を設定）
→避難方法・手順
→避難先の環境設定
→避難のタイミング

# 所在地：佐賀県嬉野市

社会福祉法人
済昭園
2 養護老人ホーム済昭園
3 一般型特定施設入所者生活介護事業
4 済昭園指定居宅介護支援事業所
5 済昭園在宅介護支援センター
9 ケアハウス和泉式部の里
10 済昭園ホームヘルプサービス事業
11 済昭園障害者居宅介護事業所
12 済昭園移動サービス事業
13 特別養護老人ホーム済昭園・清涼館
14 短期入所生活介護事業
済昭園・清涼館
塩田川
6 特別養護老人ホーム
済昭園
7 短期入所生活介護事業
済昭園
8 デイサービスセンター
済昭園
0 光桂寺
1 児童養護施設
済昭園
済昭園運動場
和泉式部公園駐車場
嬉野市役所塩田庁舎
19 塩田地区
地域包括支援センター
嬉野市塩田町久間
15 デイサービスセンター美笑庵
16 ケアホーム美笑庵
17 デイサービスセンター美笑庵 2号館
18 ケアホーム美笑庵 2号館

【施設の災害リスク】

## ◆養護老人ホーム済昭園

| 洪　水 | 土砂災害 |
|---|---|
| 非該当 | 土砂災害警戒区域内<br>（急傾斜地の崩壊）<br>**※施設の一部が土砂災害特別警戒区域に含まれる** |

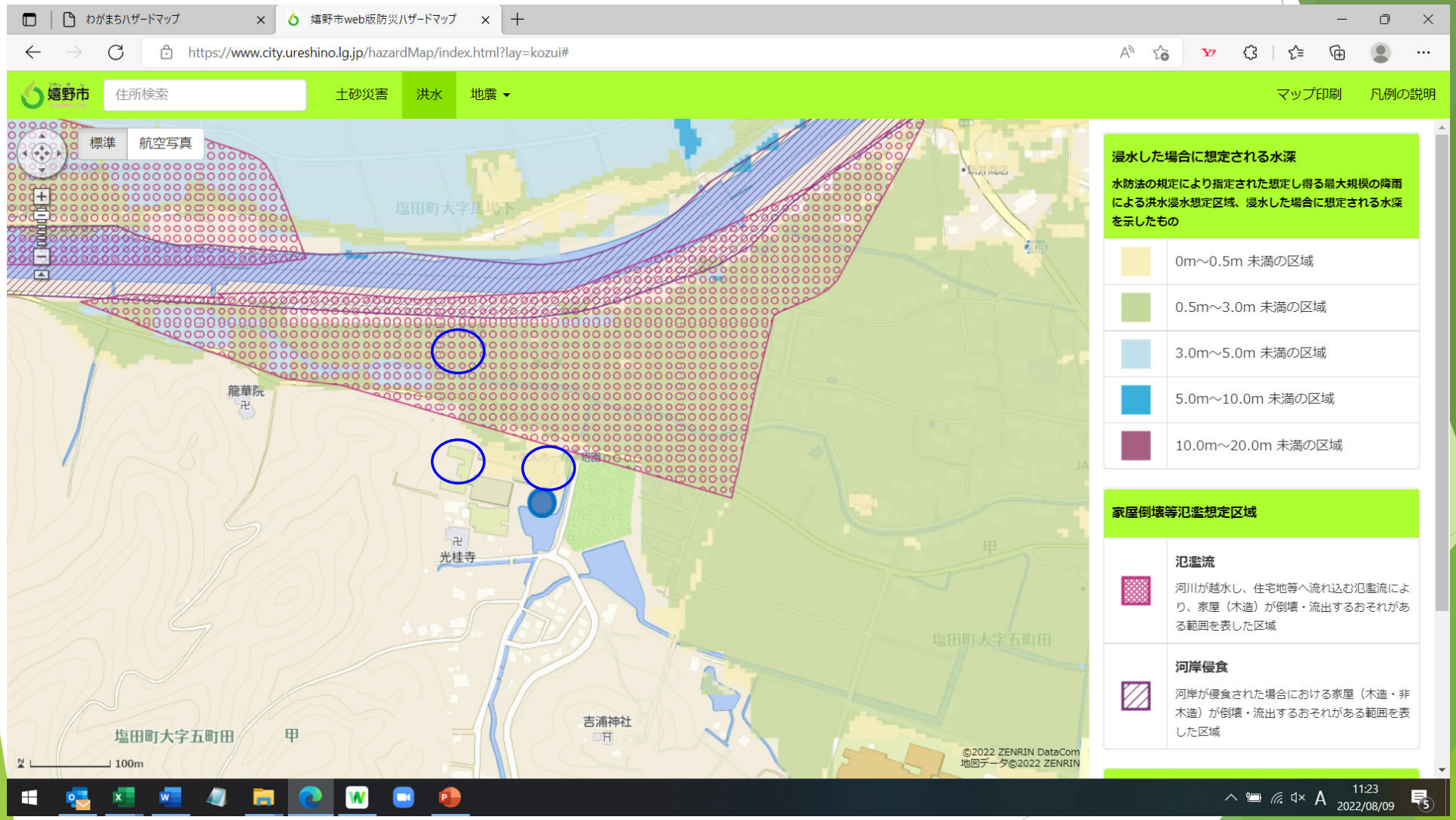
## ◆特別養護老人ホーム済昭園

| 洪　水 | 土砂災害 |
|---|---|
| 洪水浸水想定区域内<br>想定浸水深：０．５m未満<br>**防災重点農業用ため池** | 土砂災害警戒区域内<br>（土石流） |

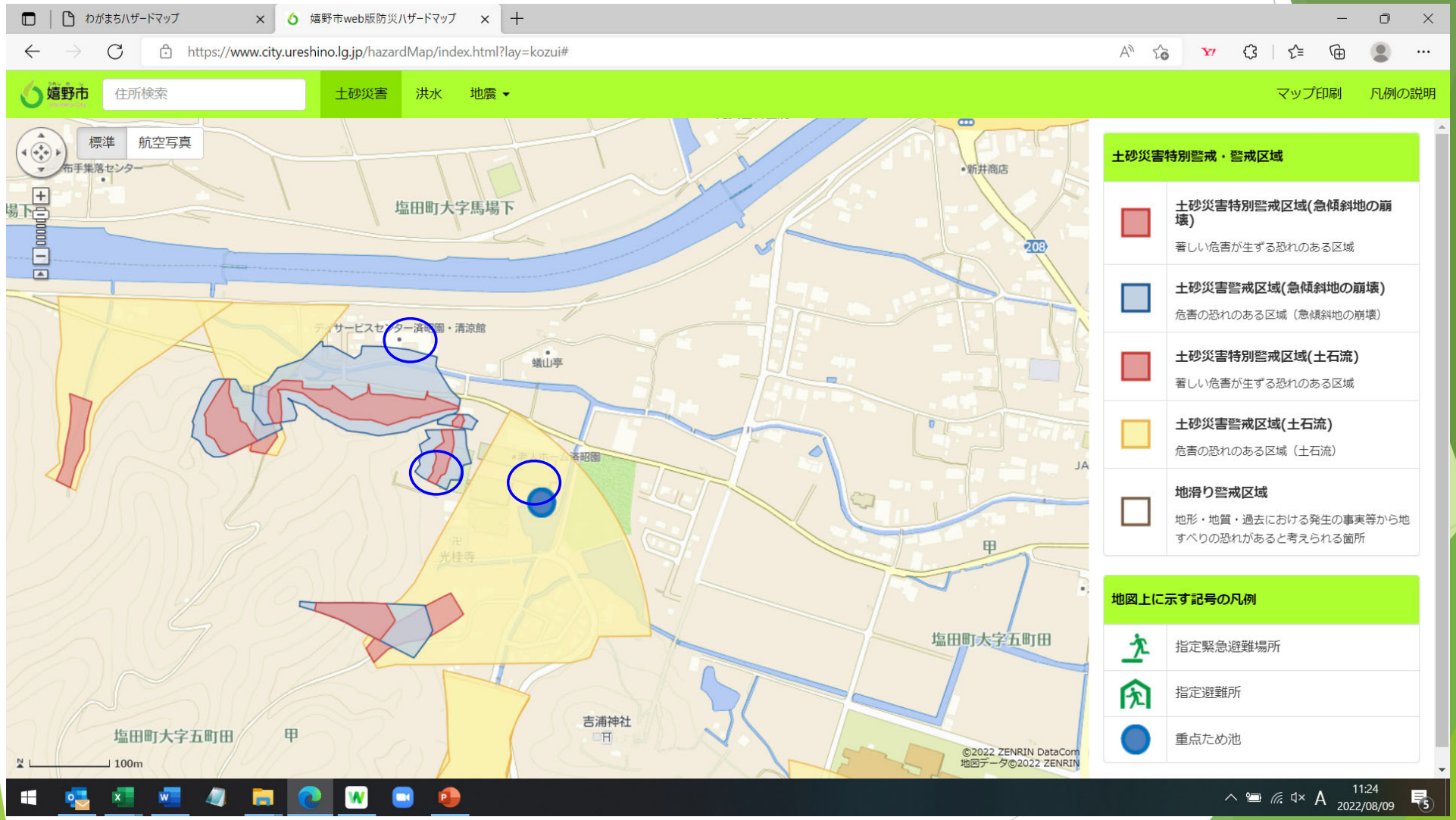
## ◆特別養護老人ホーム済昭園・清涼館

| 洪　水 | 土砂災害 |
|---|---|
| 洪水浸水想定区域内<br>想定浸水深：０．５m～３m<br>家屋倒壊等反乱想定区域：**（塩田川）氾濫流** | 土砂災害警戒区域内<br>（急傾斜地の崩壊） |

# 洪水想定区域マップ


わがまちハザードマップ
嬉野市web版防災ハザードマップ
https://www.city.ureshino.lg.jp/hazardMap/index.html?lay=kozui#
嬉野市
住所検索
土砂災害
洪水
地震
マップ印刷
凡例の説明
標準
航空写真
龍華院
光桂寺
吉浦神社
塩田町大字五町田
甲
100m
©2022 ZENRIN DataCom
地図データ©2022 ZENRIN
浸水した場合に想定される水深
水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を示したもの
0m～0.5m 未満の区域
0.5m～3.0m 未満の区域
3.0m～5.0m 未満の区域
5.0m～10.0m 未満の区域
10.0m～20.0m 未満の区域
家屋倒壊等氾濫想定区域
氾濫流
河川が越水し、住宅地等へ流れ込む氾濫流により、家屋（木造）が倒壊・流出するおそれがある範囲を表した区域
河岸侵食
河岸が侵食された場合における家屋（木造・非木造）が倒壊・流出するおそれがある範囲を表した区域
11:23
2022/08/09

# 土砂災害警戒区域マップ



## 【今回の取り組み内容】

〇専門家個別支援による現地確認・意見交換

〇避難タイムラインの作成と見直し

〇防災マニュアルの見直し

・・・避難手順・方法・避難先の環境設定

〇水害・土砂災害想定避難訓練の実施

# ○専門家個別支援による現地確認・意見交換

避難先の見直し

◆これまで避難確保計画では近隣の小学校を避難先と設定していたが、
その避難ルートも洪水想定区域であり移動自体が危険である。

◆また、過去の大雨では、隣接する非木造4階建ての施設へ立ち退き避難を行った。しかし、避難による環境の変化で要介護の入所者の不穏や熱発等の体調不良が多数あった。職員の人手不足から転倒リスクがある方や認知症の方への見守りができない状況もあった。また、避難解除し施設へ戻ってからも混乱は続いた。

◆安全のための避難は必要

→避難自体のリスクも考慮した上で、避難先の見直しが必要。

**二次災害のリスクが高い**

【養護老人ホーム済昭園】

→がけ地側の部屋にいる入所者を２階以上の広いスペースに**“垂直避難”**する

【特別養護老人ホーム済昭園】

→ため池決壊による氾濫流に近い建物の入所者を**“別棟の比較的安全なスペースに避難”**する

【特別養護老人ホーム済昭園・清涼館】

→非木造３階建てであり入所者の生活区域は２階以上のため、
想定浸水深（0.5～3m）を踏まえて、**“入所者は避難せずに施設にそのまま留まる”**

# ○避難タイムラインの作成と見直し

◆法人内の施設ごとに作成するが避難開始のタイミングを同一にすることで他施設職員からの応援が駆けつけやすいようにした。

◆避難の判断基準は「避難情報」を活用するほか、

「**災害対策本部**が避難の必要があると判断したとき」と臨機応変に避難の判断をするよう見直した。

◆タイムラインレベルに準じた“防災行動”と、さらに“職員の行動”を追記したことで、各現場の状況が把握できるようになった。

◆行政や各関係機関への相談・報告、入所者家族への連絡等を行うタイミングも明記した。

# ○防災マニュアルの見直し
## ・・・避難手順・方法・避難先の環境設定

◆避難マニュアルを作成し、避難経路を図面で示しスムーズに行動できるようにした。

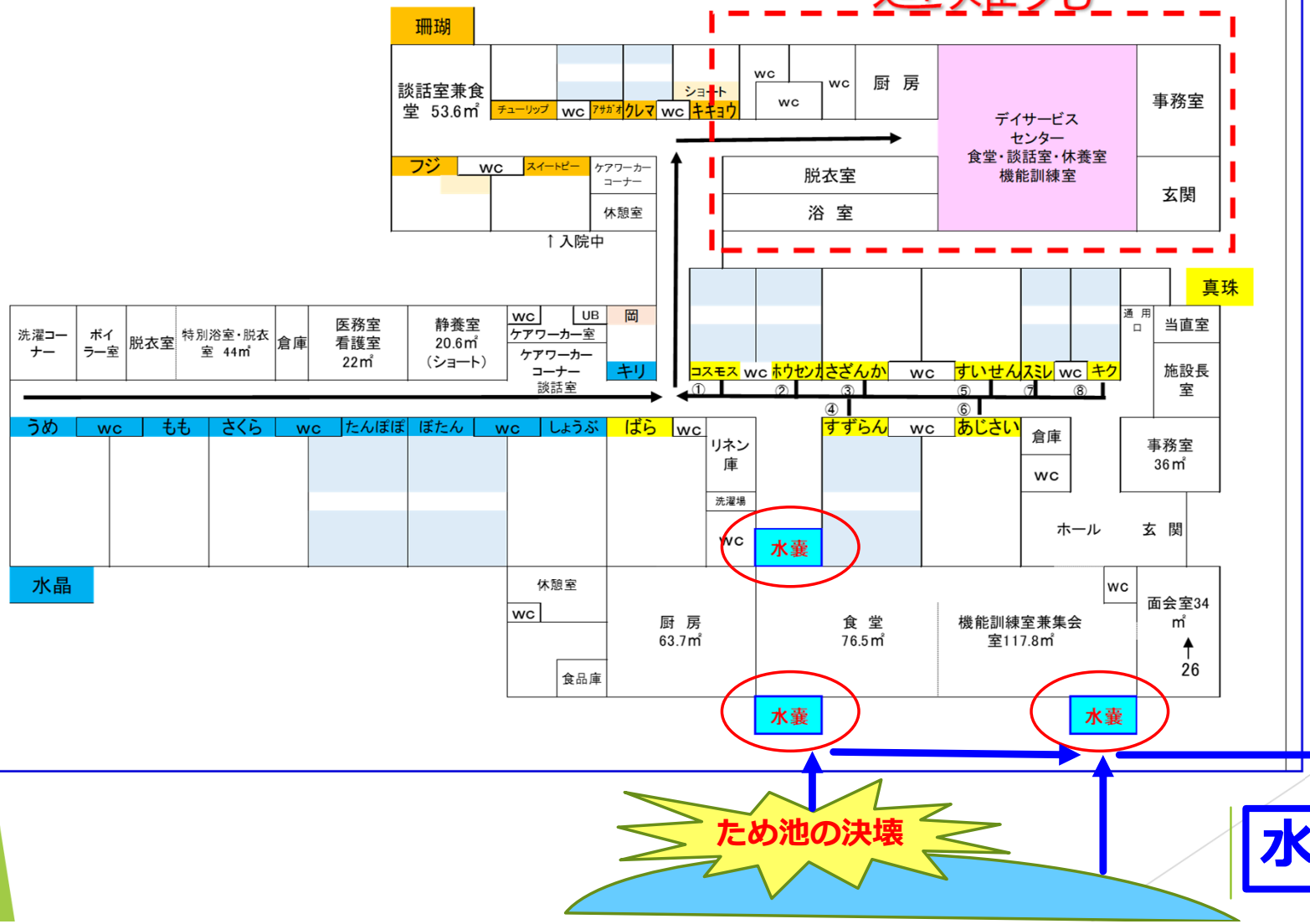
◆防災ボックス（災害対応用品）を準備しその保管場所を図面に示し、緊急時にすぐに対応できるようにした。（簡易発電機、停電時のライト、養生テープ等の防災用品）

◆避難行動の際に準備すべき物品リストを作成

◆非常災害対策補助金を活用し、避難先の環境の整備のための備品が準備できた。
（移動式簡易発電機、水のう、排せつ介助時のプライバシー保護用仕切り等）

◆法人職員への連絡は“防災一斉メール”および“LINE WORKS”を活用。

# 避 難 経 路


避難先
珊瑚
談話室兼食堂 53.6㎡
チューリップ
wc
アサガオ
クレマ
wc
ショート
キキョウ
wc
wc
厨 房
デイサービス
センター
食堂・談話室・休養室
機能訓練室
事務室
玄関
脱衣室
浴 室
フジ
wc
スイートピー
ケアワーカーコーナー
休憩室
↑入院中
真珠
洗濯コーナー
ボイラー室
脱衣室
特別浴室・脱衣室 44㎡
倉庫
医務室 看護室 22㎡
静養室 20.6㎡（ショート）
wc
UB
ケアワーカー室
ケアワーカーコーナー
談話室
岡
キリ
コスモス
wc
ホウセンカ
さざんか
wc
すいせん
スミレ
wc
キク
通用口
当直室
施設長室
うめ
wc
もも
さくら
wc
たんぽぽ
ぼたん
wc
しょうぶ
ばら
wc
すずらん
wc
あじさい
リネン庫
洗濯場
wc
水嚢
倉庫
wc
事務室 36㎡
ホール
玄 関
水晶
休憩室
wc
食品庫
厨 房 63.7㎡
食 堂 76.5㎡
機能訓練室兼集会室117.8㎡
wc
面会室34㎡
26
水嚢
水嚢
ため池の決壊
水流の予測

## ○水害・土砂災害想定避難訓練の実施

（昼間、施設周辺地域一帯で停電発生を想定）

◆情報収集訓練・・・災害対策本部の開催

◆避難訓練・・・避難誘導
“インカム（無線機）”にて職員間の連絡をとる

避難先の就寝スペース等の設営
（ベッド配置等のシュミレーション）
避難先での“食事提供訓練”（備蓄食材を使用）

◆停電時対応訓練・・・移動式簡易発電機の使用訓練
停電時の水の確保訓練

# 災害対策本部

消火器

入居者

10

# 【まとめ】

◆これまで、風水害時の避難先の設定について苦慮していた。

今回、専門家個別支援により比較的安全な施設内避難の設定・手順を作成できた。

また、安全確保のため避難は必要だが、要介護状態の入所者が避難に伴なう移動による健康被害や転倒等の２次災害リスクを考慮し、避難行動開始のタイミングをどう判断すべきかが、“避難タイムライン”の作成により明確にできるようになった。

◆今後の課題としては、避難期間が長期化した際の職員体制と資材確保（食材、介護用品等）について重ねて検討していく。また停電時はICT福祉機器（介護補助）を使用できないため介護環境をどう対応していくのか。

◆今回は“水害・土砂災害”について対策を行ったが、他の非常災害（火災・地震等）についての対策も、今回の取り組みを生かし検討を行っていく。